

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期										
科目名	こどもの音楽Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位										
担当教員	川内奈央・寺内めぐみ	実務経験の有無	○												
実務経験教員の経歴	各講師それぞれが、音楽教室・自宅でのピアノ指導歴数十年、またソロの演奏活動、声楽(他楽器)の伴奏等の経験より、初心者からレベルの高い学生まで幅広い指導を行うことができ、「音楽による表現」へのアプローチ、コードによる伴奏付け等のアドバイスを行っている。														
授業のねらい(到達目標)	音を間違え、途中で止まる、弾き直すなどのない演奏をする。 楽曲のテンポを正しくとり、音楽の流れを中断しないようにする。 抑揚のある表情豊かな演奏を心がけたとえ練習曲であっても美しい音楽作品になるように心がける。														
授業概要	「音楽基礎Ⅰ」「音楽基礎Ⅱ」「こどもの音楽Ⅰ」で身に付けた演奏技術をさらに向上させ、保育士および幼稚園教諭に必要なレベルまで到達させる。特に、保育・教育に出て演奏の成果を発揮できるように、実践を意識した取り組みを行う。														
テキスト	「こどものうた50選」「ブルクミュラー25の練習曲」「コールユーブンゲン」														
授業計画	第1回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第2回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第3回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第4回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第5回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第6回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第7回	中間試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第8回	中間試験													
	第9回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第10回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第11回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第12回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第13回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第14回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
	第15回	期末試験課題(ソルフェ・ブルクミュラー・弾き歌い)を中心に各個人の進度に合わせた曲を練習する。													
単位認定・評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table> 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する				総合評価算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価算出基準	期末	中間	平常	出欠											
	50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期	
科目名	保育表現技術演習	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	高木 亜紀	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭として多くの幼児や保護者と関わった経験、学童保育指導員として小学生の生活や学習に関わった経験、子育てに関する活動(育児サークル主宰、企業による子どもを対象とした職業体験学習など)をもとに授業を行う。					
授業のねらい (到達目標)	保育における言語的な表現技術を学修する。今まで学修した知識・技能を活かし、表現技術を総合的にスキルアップさせる。また、保育者としての人間性の向上を図る。					
授業概要	保育における言語的な表現技術を学修する。 保育に関する基礎理論、保育内容、保育技能等、学修した知識や技術を使って授業内で実践をする。 保育者に求められる資質について考える。					
テキスト	駒井美智子編「笑顔いっぱい!あそびのレシピ」大学図書出版、「幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省」フレーベル館、「保育所保育指針解説 平成30年3月 厚生労働省」フレーベル館、「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 内閣府・文部科学省・厚生労働省」フレーベル館					
授業計画	第1回	【保育表現技術演習とは】この授業の概要を理解します				
	第2回	【身体表現、言語表現、音楽表現、造形表現とは】保育者には総合的な表現力が必要であることを学びます				
	第3回	【幼児文化教材とは】幼児文化教材の意義と、保育における教材の必要性について学びます。また、幼児文化教材は、パーソナルコミュニケーションが大きなポイントであることを学びます。				
	第4回	【文化教材について】図書館で文化教材の種類や楽しみ方を調べます。				
	第5回	【文化教材について】調べたことをまとめます。				
	第6回	【文化教材について】まとめたことを発表しましょう。また、実践してみましょう。				
	第7回	【保育者に求められる豊かな表現力とは】豊かな表現力とはどのようなことをいうのでしょうか。また、それらを身につけるにはどのようにしたらいいのかを考えます。保育内容を進める上で、表現力や発表力の向上は最も重要であることを学びます。				
	第8回	【子どもが表現力を高める保育内容とは】表現活動について学びます。				
	第9回	【実技指導案を書く】今まで学習したことをおさらいしながら指導案を作成してみましょう。				
	第10回	【実践】教材を使用した実践をします。				
	第11回	【実践】教材を使用した実践について振り返りをします。反省を次に活かせるようにしましょう。				
	第12回	【素話について】素話について学び、実技をしてみます。				
	第13回	【素話について】素話について振り返りをします。反省を次に活かせるようにしましょう。				
	第14回	【お遊戯会の意義と課題】行事を行うことの意味について考えます。お遊戯会が行われる時期、意義、課題について学びます。				
	第15回	【まとめ】幼児の発達段階に即した保育教材とは何か、整理してまとめます。また、統合保育、多文化保育等における教材の意義について考えます。				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期	
科目名	保育相談支援演習	授業形態	講義	単位数	2単位	
担当教員	渡邊 みゆき	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	児童養護施設での保護者対応、子育て支援の経験から、現代の保護者が抱える育児不安やそれを支える社会資源について、実践的な指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士の専門性を生かした支援について理解する。 ・保護者との関係作り、関係機関との連携について理解する。 ・面接での技法や配慮について理解し、保育相談への対応、展開ができるようにする。 					
授業概要	保護者に対する相談支援がなぜ必要か、保育士の専門性を生かした支援の特徴を考え、子どもの利益を守り、保護者の問題解決を図る支援の実際を知る。保護者と信頼関係を結びながら、ともに育てる関係づくりや地域の関係諸機関との連携の仕方などを学修し、児童福祉施設全般の保育相談への対応、展開ができるようにする。					
テキスト	保育相談支援					
授業計画	第1回	オリエンテーション				
	第2回	保育相談支援の定義				
	第3回	保育所における相談支援				
	第4回	保育相談支援の対象者				
	第5回	保護者支援のねらい				
	第6回	保育を基盤とした保育相談支援				
	第7回	面接場面における配慮点				
	第8回	環境を通じた保育相談支援				
	第9回	保育相談支援の展開過程①				
	第10回	保育相談支援の展開過程②				
	第11回	自己覚知(演習)				
	第12回	価値観(演習)				
	第13回	保護者面談(演習)				
	第14回	保護者面談(演習)				
	第15回	まとめ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期	
科目名	専門演習Ⅱ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	高橋 百合子	実務経験の有無		○		
実務経験教員の経歴	保育園の勤務経験2年					
授業のねらい (到達目標)	保育実習Ⅱ・Ⅲの準備として自己課題を明確にし保育者として研鑽を積むべき事項を考える					
授業概要	保育実習Ⅰを振り返りながら保育実習Ⅱ・Ⅲの準備を行う。保育の様々な場面における保育者の問題を考える。					
テキスト	保育実習ハンドブック					
授業計画	第1回	保育実習の意義				
	第2回	省察について				
	第3回	保育実習Ⅰの問題点				
	第4回	保育実習Ⅰの問題点への対応法				
	第5回	保育実習における子どもを観察する方法				
	第6回	年齢別の発達段階について				
	第7回	子どもの葛藤場面への対応				
	第8回	実習生としてふさわしい態度				
	第9回	子育て支援の重要性				
	第10回	園の特徴を生かした支援				
	第11回	指導計画作成の意義				
	第12回	環境構成の在り方				
	第13回	保育者の仕事・役割				
	第14回	保育職につく専門家として準備すること、心構え				
	第15回	保育者同士の連携の大切さ				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期	
科目名	保育実習事後指導Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位	
担当教員	石井 まさみ	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立保育園に27年間勤務。保育士、主任、園長を経験。その経験を「子どもの最善の利益」と結び付けながら事例を通して伝えている。					
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習による総合的な学びをする。 ・保育実践力の育成を図る。・実習施設における指導の深い学びをする。 ・保育実習からの学びと課題について考える。・実習の総括と評価をする。 					
授業概要	①保育実習による総合的な学びをし総括評価する。②保育の実践力の育成を図り総括評価する。③実習施設における指導の深い学びをし総括評価する。④保育実習からの学びと課題について考え総括評価する。⑤実習の総括と評価をする。⑥以上のことを踏まえて今後の学修目標・課題を明確にする。					
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習ハンドブック・保育実習学・保育者の常識67・保育所保育指針解説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説・幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド 					
授業計画	第1回	保育実習による総合的な遊び(1) 子どもの最善の利益を考慮した保育の具体的理解				
	第2回	保育実習による総合的な遊び(2) 子どもの保育と保護者支援				
	第3回	保育実習による総合的な遊び(3) 保育所施設の特徴				
	第4回	保育実践力の育成(1) 子どもの状態に応じた適切な関わり				
	第5回	保育実践力の育成(2) 保育の表現技術の応用				
	第6回	保育実践力の育成(3) 特別な配慮を必要とする子どもへの保育の実際				
	第7回	保育施設における指導(1) 保育士が果たす役割の理解				
	第8回	保育施設における指導(2) 利用する子どもの特徴の理解と関わりの検討				
	第9回	保育実習からの学びと課題(1) 子どもの姿・保育者の仕事				
	第10回	保育実習からの学びと課題(2) 基本的側面・事実の記録・考察の始まりから				
	第11回	保育実習からの学びと課題(3) 子育て支援・延長保育・一時保育等				
	第12回	事後指導における実習の総括と評価(1) 実習の総括と自己評価				
	第13回	事後指導における実習の総括と評価(2) 保育現場に求められるもの 生活に関する技術について				
	第14回	事後指導における実習の総括と評価(3) 保育現場に求められるもの 実習の総括と自己評価				
	第15回	事後指導における実習の総括と評価(4) 保育現場に求められるもの グループディスカッションによる課題の整理及び発表				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期
科目名	保育実習事後指導Ⅲ	授業形態	演習	単位数	1単位
担当教員	石井 まさみ	実務経験の有無	○		
実務経験教員の経歴	公立保育園に27年間勤務。保育士、主任、園長を経験。その経験を「子どもの最善の利益」と結び付けながら事例を通して伝えている。				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習の意義・目的内容方法を理解し・総括・評価する。 ・実習課題の明確化、実習記録の意義・方法の理解、実習施設の理解を図ったうえでの総括・評価をする。 ・保育演習を通して、保育場面のなかでの留意する事柄を理解し、施設で実践する。 				
授業概要	①保育実習Ⅲで生じた疑問点を理解する。②保育実習Ⅲの反省と自己課題を明確にする。③利用者への理解と援助技術について理解する。④保育者論について学ぶ。				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・保育実習ハンドブック・保育実習学・保育者の常識67・保育所保育指針解説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説・幼稚園・保育所・認定こども園実習パーフェクトガイド 				
授業計画	第1回	保育実習の時期及び準備等(実習の手引き)の反省と課題			
	第2回	保育実習Ⅲの目的 福祉施設実習の意義・福祉施設実習の意義の確認			
	第3回	福祉施設実習の保育士の役割・福祉施設の専門職について			
	第4回	福祉施設実習の実習生の立場と心構えについて			
	第5回	事前の施設訪問・施設見学について・実習計画			
	第6回	実習期間中の流れ・観察実習の内容			
	第7回	参加実習の内容・指導実習の内容・記録の意味の確認			
	第8回	実習日誌の書き方・実習施設での問題点と課題			
	第9回	施設別の実習の内容と問題点と課題(各自) ①保育者の機能について			
	第10回	施設別の実習の内容と問題点と課題(各自) ②保育者の役割について			
	第11回	施設別の実習の内容と問題点と課題(各自) ③子どもと利用者の関わりと職員の関わりについて			
	第12回	各福祉施設実習での指導実習企画・計画①(各自)・・・観察実習の課題			
	第13回	各福祉施設実習での指導実習企画・計画①(各自)・・・部分実習の課題			
	第14回	各福祉施設実習での指導実習企画・計画①(各自・発表)・・・保育者としての「良いモデルとは受容と傾聴			
	第15回	施設別の実習の内容と問題点と課題(各自)まとめ・・・今後の問題点と課題についてまとめる			
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度	総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期									
科目名	保育・教職実践演習	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	板垣 裕	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	幼児教育施設での勤務経験を活かし、実践的な授業を行う。													
授業のねらい (到達目標)	<ol style="list-style-type: none"> 1. これまで修得した保育の専門知識の振り返りによって保育の専門的基礎力の定着を図る。 2. 専門的知識技能の実践への応用、課題解決能力を高める。 													
授業概要	<p>現在の保育実践上の課題、子どもや子育てに関わる環境上の諸問題を自ら発見し、その改善に向けての方策を考える。</p> <p>問題発見能力、課題解決能力、実践への積極的態度を養うため、現在の保育問題(少子化、保育制度、子育て支援、幼小連携等)について調べ、身近な具体的課題を設定し、テーマ毎に研究、グループ討議、研究発表を行う。</p>													
テキスト	配布資料													
授業計画	第1回	保育者の専門性とは何か												
	第2回	日本における保育実践上の課題について① 児童福祉行政における問題点												
	第3回	日本における保育実践上の課題について② 児童虐待												
	第4回	日本における保育実践上の課題について③ 多文化保育												
	第5回	日本における保育実践上の課題について① 統合保育												
	第6回	日本における保育実践上の課題について① 児童虐待												
	第7回	グループ討議① 保育における地域との連携について												
	第8回	グループ討議② 現代の保護者の子育て意識と保育施設、保育者の役割について												
	第9回	グループ討議③ 都市化現象が子どもの生活と発達に及ぼす影響について												
	第10回	グループ討議④ 保護者支援の方法について												
	第11回	グループ討議まとめ 模擬授業①												
	第12回	グループ討議まとめ 模擬授業②												
	第13回	グループ討議まとめ 模擬授業③												
	第14回	子どもの遊びを豊かにする環境構成, 材料, 保育者の関わりについて												
	第15回	まとめ 保育者に求められる質とは何か												
単位認定 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	
期末	中間	平常	出欠											
50%	25%	10%	15%											

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> ・園や施設の方針を理解した上で適切に行動する。 ・目標を明確にし、向上心を持ち、実践的に学びを積むことが出来る ●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容に合った教材準備や環境構成ができる(部分実習及び責任実習準備の充実) ・生活・遊びを促すための援助(かかわり)ができる ●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児とのかかわりから保育士の意図を感じ取り学びや気づきを書くことが出来る ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ・子どもの姿を場面で捉え、それを「乳幼児理解」につなげることができる。 ●指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。(部分、責任) ●提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・約定期日を守り、計画的にすすめる。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもとのかかわりを深めながら観察し、保育理念や保育の課程をおさえ、保育士の職務を理解できるようにする ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。 				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年
科目名	保育実習Ⅲ	授業形態	実習	単位数	2単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ●実習生の姿勢態度 <ul style="list-style-type: none"> ・施設の方針を理解の上、保育者とこども・利用者とのかかわり方を学び、適切に行動する ・保育実習の経験を活かし主体的に動く。 ●知識、技能 <ul style="list-style-type: none"> ・信頼関係を気づくための技術を身につける ・施設の役割と社会的な位置づけを知る ・施設の現状(生活や職員の役割)を理解する ●実習記録 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもや利用者とのかかわりから保育士の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことが出来る ・「個」と「集団」それぞれの姿を記録できる ・実習生のかかわりを詳細に記録し、省察することができる。 ●指導案 <ul style="list-style-type: none"> ・指導案を書く意味が分かり、指導案を実践につなげることができる。 ●提出物 <ul style="list-style-type: none"> ・約束期日を守り、計画的にすすめる。 				
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ●社会福祉施設における実習を通して施設におけるこども・利用者の生活をりかいするとともに、様々な職種の連携について知り、保育者士として必要な支援技術の向上を目指し、指導する。 ●授業等で得た知識や技能を最大限に活かし総合的な実践ができるようにする。 				
単位認定 ・ 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の評価基準に基づき及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年
科目名	幼稚園教育実習Ⅰ	授業形態	実習	単位数	1単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<p>1. 実習生の姿勢・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マナーを守り、意欲的に取り組む ・礼儀正しく、謙虚な姿勢で学ぶ ・自分から進んで質問をし、実践的な学びを深める <p>2. 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼児の「前に立つ」ための準備をして実習に臨む ・3歳児から5歳児の発達を理解し実習に臨む <p>3. 実習日誌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢の発達の特徴や保育の流れやつながりを理解して時系列に記録ができる ・幼児に対する保育者の働きかけを具体的に記録できる ・幼児の姿を観察し、場面の記録を書くことができる ・「気づき」を書く事ができる <p>4. 指導案</p> <ul style="list-style-type: none"> ※教育実習Ⅰでは、記録に重点を置き、指導案は教育実習Ⅱの課題とする <p>5. 手続きと提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日を守り、自主的に進められる 				
授業概要	実際に幼稚園の生活を体験する中で、園生活の流れと幼児の生活、発達の姿、幼稚園教諭の職務を理解できるように指導する。				
単位認定 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の基準に基づく)及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年
科目名	幼稚園教育実習Ⅱ	授業形態	実習	単位数	1単位
担当教員	実習専任教員	実務経験の有無		○	
実務経験教員の経歴	保育園・幼稚園・小学校等の該当実習施設での勤務経験				
授業のねらい (到達目標)	<p>1. 実習生の姿勢・態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習園の特色や保育方針を理解し、課題を明確にして実習に臨む ・「今日の課題」を考察し、「明日の課題」を明確にしながら学びを積み上げようとする ・「個」と「集団」に積極的に関わり、観察し学びを深める <p>2. 知識及び技能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育におけるPDCAサイクルを理解する ・ピアノや絵本の読み聞かせなど、保育技術を磨いて実習に臨み、実践の場においてさらなる向上を目指す ・幼児の言動から心情を感じとりながら、関わることができる <p>3. 実習日誌</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育者の意図を感じ取り「学び」や「気づき」を書くことができる ・「個」と「集団」の姿を記録できる ・幼児との関わりを詳細に記録し、省察することができる <p>4. 指導案</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの姿を予測し、配慮事項や留意点を挙げることができる ・導入、展開、まとめを一連の流れとして立案できる <p>5. 手続きと提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期日を確認し、計画的に進められる 				
授業概要	教育実習Ⅰでの経験を基礎として、観察や指導案に基づいた実践を行う。幼稚園の教育理念や教育課程を把握し、「個」と「集団」の理解、幼稚園教諭の職務に対する理解等がさらに深まるよう指導する。また、指導案を作成し実践的な体験を通して学べるよう指導する。				
単位認定 評価方法	<p>実習園による評価(出勤状況・実習態度・職務理解・施設理解・幼児理解等の等の基準に基づく)</p> <p>及び実習日誌を総合して評価をする。</p> <p>上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する</p>				

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	前期		
科目名	幼稚園教育実習指導Ⅱ	授業形態	演習	単位数	1単位		
担当教員	石井 まさみ	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立幼稚園13年勤務。幼稚園教諭の専門性や現場での保護者、子どもとの体験を伝えている。						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・大学で学修した知識、技術と一般的な教養を基礎として実際の教育現場で実習する。 ・経験豊かな指導教員の下で、幼児と触れ合い実習する。 ・幼稚園教諭となる為の基本的な能力と態度(個別指導、クラス指導、幼稚園行事等)を養う。 						
授業概要	①幼稚園教育実習の反省や評価を基に、これまで修得した専門知識を振り返る。②幼児の生活や発達の理解、幼児の発達を促す指導の在り方(環境構成や教師の援助)についての学修を演習を通して深めていく。③保育者に求められる専門的な知識が定着出来るように学びを深める。④幼稚園教育をめぐる諸問題及び解決のための取り組み等について知見を広げる為、事例問題についてグループで話し合い、専門性の向上を図る。						
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・9園実習について・学びをいかす保育実習ハンドブック・保育実習学・保育者の常識67・DVD「幼児とのかかわりを考える」・幼稚園教育要領解説・幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 						
授業計画	第1回	内部園実習準備(諸注意他)4/14(火)～16(木)迄内部園実習					
	第2回	内部園実習の振り返り、幼稚園実習の部分・責任案を配付、一斉活動について学ぶ					
	第3回	考察について学ぶ(子ども・保育者の思いに気付く)指導案を立案し実践する。そこでの気づきを指導案に反映させる。					
	第4回	実習前準備(部分、責任に使うもの)5/18(月)～5/30(土)迄幼稚園実習					
	第5回	実習前準備(部分、責任に使うもの)5/18(月)～5/30(土)迄幼稚園実習					
	第6回	振り返りをし、自分の課題に気付く。					
	第7回	部分、責任案を立案して実践し、改善点、良かった点に気付く					
	第8回	改善点、良かった点から見えて来た自分自身について知る。指導案の改善、実技の改善を学ぶ					
	第9回	実習前準備(ファイル、部分、責任案に使用するもの)6/29(月)～7/11(土)迄幼稚園実習					
	第10回	実習前準備(ファイル、部分、責任案に使用するもの)6/29(月)～7/11(土)迄幼稚園実習					
	第11回	振り返りをし1回目より何処が伸びたか、課題はどこかを理解し強化する為には何をすべきか考える。 エピソードを書く(環境・保育者の援助・子どもの育ちが捉えられている内容)					
	第12回	振り返りをし1回目より何処が伸びたか、課題はどこかを理解し強化する為には何をすべきか考える。 エピソードを書く(環境・保育者の援助・子どもの育ちが捉えられている内容)					
	第13回	エピソードの発表(幼稚園教諭についての専門性が含まれているか)事例問題についてのグループワーク。					
	第14回	自分のなりたい幼稚園教諭像についてまとめ(何故そう思うのかの知見を含む)発表する。					
	第15回	自分のなりたい幼稚園教諭像についてまとめ(何故そう思うのかの知見を含む)発表する。					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施	授業時数の2/3以上の出席	総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)	
科目名	保育実習指導	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う。					
授業のねらい (到達目標)	外部実習に向けて準備を充実する ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認して考察や「活動」を多方面から考える ・実習の振り返りをして課題や反省点をみつけ次の実習に繋げる。 ・見通しを持ち場面に対応して動く力や相手に伝える力を身につける					
授業概要	・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省 課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。					
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等					
授業計画	第1回	授業内容について説明、自己紹介の準備				
	第2回	教育実習Ⅰ準備①				
	第3回	教育実習Ⅰ準備②				
	第4回	教育実習Ⅰ準備③				
	第5回	教育実習Ⅰ準備④				
	第6回	保育実習の振り返りをする。				
	第7回	教育実習Ⅱ準備①				
	第8回	教育実習Ⅱ準備②				
	第9回	教育実習Ⅱ準備③				
	第10回	教育実習Ⅱ準備④				
	第11回	教育実習の振り返りをする				
	第12回	事例検討①				
	第13回	事例検討②				
	第14回	保育実習ⅡⅢ準備①				
	第15回	保育実習ⅡⅢ準備②				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価: 課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)	
科目名	保育実習指導	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	笠井多佳子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立園での勤務経験から現場に求められる保育者像について実践的な指導を行う					
授業のねらい (到達目標)	外部実習に向けて準備を充実する ・日誌の書き方、指導案の立て方を確認し、多方面から「活動」を考える。 ・実習の振り返りをその都度行い、課題や反省点を明確にし次の実習に繋げる。 ・見通しをもち、臨機応変に動く力や子ども達の前で演じる(伝える)力を身につける。					
授業概要	・実習に向け、マニュアルやファイル等を使い基本的な事を確認する。 ・振り返りを行い、反省課題を見つけながら次の実習に繋がるようにする。 ・部分実習指導案、実習日誌など必要な事を個々に合わせて進める。					
テキスト	外部実習マニュアル・パーフェクトガイド(施設実習、保育実習・幼稚園こども園実習)・前年度配布プリント等					
授業計画	第1回	保育実習ⅡⅢの準備				
	第2回	保育実習ⅡⅢの振り返りをする				
	第3回	実習の振り返りをまとめる				
	第4回	事例検討①				
	第5回	事例検討②				
	第6回	行事予定について				
	第7回	行事予定について				
	第8回	事故防止安全対策について①				
	第9回	事故防止安全対策について②				
	第10回	事故防止安全対策について③				
	第11回	クラスだよりについて				
	第12回	クラスだよりについて				
	第13回	連絡帳の記入について①				
	第14回	連絡帳の記入について②				
	第15回	連絡帳の記入について③				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50% 中間 25% 平常 10% 出欠 15%	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)		
科目名	RGS	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	本田 拓也	実務経験の有無	×				
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力に含まれる要素としては、就職活動上の基礎的・基本的な知識・技能、基礎的・汎用的能力、論理的思考力、意欲・態度及び価値観、専門的な知識・技能を身につける。就職内定力およびこれからの社会人生活に必要な知見を身につける。						
授業概要	就職活動を行う際に必要となる、履歴書等応募書類の作成をする。 また、模擬就職試験を行い、就職内定を獲得するためのスキルを身につける。						
テキスト	配布のデジタルデータ(PPT/PDF/WORD/EXCEL)						
授業計画	第1回	1. 就職活動の概要 (1) RGSの今後の予定 (2) 就職活動をめぐる現在の社会状況 (3) 今日以降の準備					
	第2回	2. 就職活動について (1) 各自の就職活動上の課題洗い出しと目標設定					
	第3回	2. 就職活動について (1) 各自の就職活動上の課題洗い出しと目標設定 (2) 求人票見方(雇用形態等)					
	第4回	3. 電話の掛け方 アポどり (1) 一連の流れと注意点の理解 (2) 電話練習					
	第5回	4. 応募書類の準備(word、封筒用意) (1) 一連の流れと注意点の理解 (2) 封筒・添え状・履歴書・証明書の準備					
	第6回	4. 応募書類の準備(word、封筒用意) (1) 一連の封筒・添え状・履歴書・証明書の準備					
	第7回	4. 応募書類の準備(word、封筒用意) (1) 一連の流れと注意点の理解					
	第8回	5. 面接 (1) 直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる 面接でのふるまいと、必要な準備を理解し、実践できるようになる (2) 想定される質問と対策 (3) 面接のポイントとマナー					
	第9回	5. 面接 (1) 直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる 面接でのふるまいと、必要な準備を理解し、実践できるようになる (2) 想定される質問と対策 (3) 面接のポイントとマナー					
	第10回	5. 面接 (1) 直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる 面接でのふるまいと、必要な準備を理解し、実践できるようになる (2) 想定される質問と対策 (3) 面接のポイントとマナー (4) 模擬面接課題の説明					
	第11回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第12回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第13回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第14回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第15回	6. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する							

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	RGS	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	本田 拓也	実務経験の有無		×			
実務経験教員の経歴							
授業のねらい (到達目標)	社会的・職業的自立、学校から社会・職業への円滑な移行に必要な力に含まれる要素としては、就職活動上の基礎的・基本的な知識・技能、基礎的・汎用的能力、論理的思考力、意欲・態度及び価値観、専門的な知識・技能を身につける。就職内定力およびこれからの社会人生活に必要な知見を身につける。						
授業概要	就職活動を行う際に必要となる、履歴書等応募書類の作成をする。 また、模擬就職試験を行い、就職内定を獲得するためのスキルを身につける。						
テキスト	配布のデジタルデータ(PPT/PDF/WORD/EXCEL)						
授業計画	第1回	1. グループディスカッション 「少子化社会が問題化しているが、その解決について」					
	第2回	1. グループディスカッション 「少子化社会が問題化しているが、その解決について」					
	第3回	2. グループディスカッション 「児童虐待防止のために、保育士ができること」					
	第4回	2. グループディスカッション グループごとに発表 「児童虐待防止のために、保育士ができること」					
	第5回	3. 面接 (1) 直接、口頭にて、相手に伝わる形で自己アピールできるようになる ・面接でのふるまいと、必要な準備を理解し、実践できるようになる (2) 想定される質問と対策 (3) 面接のポイントとマナー (4) 模擬面接課題の説明					
	第6回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第7回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第8回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第9回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第10回	4. 模擬面接 立ち居振る舞いと内容の確認					
	第11回	5. 働くうえでどんな法律や制度があるか ・労働基準法、育児・介護休業法、男女雇用機会均等法					
	第12回	5. 働くうえでどんな法律や制度があるか ・労働基準法、育児・介護休業法、男女雇用機会均等法					
	第13回	6. 労働契約と職場の人間関係					
	第14回	6. 労働契約と職場の人間関係					
	第15回	7. 内定の意味とこれから生きていくには					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)	
科目名	教材研究Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行う					
授業のねらい (到達目標)	自ら調べて保育のポケットの充実を図ると共に、演じ方を習得し現場での実践力をつける 授業で提供される遊びの教材なども確実に使えるようにする					
授業概要	日々の保育で使えるグッズの制作(一人3個以上) 遊びとその導入・使用法の習得(手遊び・遊びうた・集団遊び・遊びに繋げる制作他)使用のタイミング・対象年齢等考えながら創意工夫を加えて保育グッズ作りをし、実演し合っていく					
テキスト	必用に応じプリント配布					
授業計画	第1回	教材研究知識の確認 春の手あそびと、実習に向けて作りたいグッズを作る				
	第2回	グッズ作りの続き (3日間実習へ)				
	第3回	幼稚園実習Ⅰ準備期間——自己紹介グッズ・保育グッズなど、作りたいものを調べて制作する—— (参考図書その他、様々なグッズの情報や見本を提供していく)				
	第4回	"				
		" (完成した者から演じ方の確認を行う)				
	第6回	幼稚園実習Ⅱ準備期間——手袋シアターの制作——				
	第7回	続き				
	第8回	仕上げと演じ方を考える				
	第9回	手袋シアターを演じてみる				
	第10回	各自保育グッズを作りたいめる(今まであまり作っていない対象年齢のものや、違う場面で使えるもの)				
	第11回	"				
	第12回	"				
	第13回	"				
	第14回	体を動かすあそびうた・ふれ合いあそび・体操				
	第15回	物を使ってのあそび・ゲーム・体操など				
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度 上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する	総合評価 算出基準	期末 50%	中間 25%	平常 10%	出欠 15%

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)		
科目名	教材研究Ⅲ	授業形態	演習	単位数	2単位		
担当教員	円山昭子	実務経験の有無	○				
実務経験教員の経歴	公立保育園35年6か月の勤務経験から、現場で役立つ保育教材全般について実践的な授業を行う						
授業のねらい (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・園公演活動を協力し合って進める ・おのおのが自主的に役割をもって作業に取り組む ・互いの思いも大切にしながら、子どもたちの笑顔の為に気持ちを一つにして公演活動に繋げていく ・園を訪問して公演し、園児の直の反応を感じ取り達成感を味わう 						
授業概要	○人形劇団活動 ・シナリオ作り ・舞台バック小道具制作 ・練習 ・ポスターの制作 ・園を訪問しての発表						
テキスト							
授業計画	第1回	実習に向けて 自己紹介の確認 手あそび・保育グッズや制作準備など必要なことを確認・整える					
	第2回	園訪問に向けて活動開始 昨年までの資料の動画を観たり様々な物を参考に、自分たちでやりたいことを話し合う					
	第3回	公演内容・演目・係などを決める					
	第4回	それぞれの分担に添って作業を進める					
	第5回	〃					
	第6回	〃					
	第7回	〃					
	第8回	〃 ポスターを完成させ、事前打ち合わせに出かける					
	第9回	全体の通し練習					
	第10回	〃					
	第11回	〃					
	第12回	最終リハーサル(在校生に披露)					
	第13回	最終リハーサル(在校生に披露)					
	第14回	園訪問1					
	第15回	園訪問2					
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
				50%	25%	10%	15%
	上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)								
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2単位								
担当教員	金子 憲史	実務経験の有無	○										
実務経験教員の経歴	テクノスクールでのパソコン技術指導												
授業のねらい (到達目標)	就職してから作成することになるおたよりを作成できるようにする(ひな型を使用せずに新規で作成する)後期の最終成果物であるデジタル絵本をPowerPointで作成してもらうため、PowerPointの基本操作をおさえる												
授業概要	前半:Wordを用いたおたより作成(作成上のポイント説明後、各自演習) 後半:PowerPointの基本操作(前期期末試験はPowerPointで行う)												
テキスト	・すぐに使える!おたより文例&イラストカットBOOK(ナツメ社) ・できるPowerPoint2016(インプレス社)												
授業計画	第1回	オリエンテーション											
	第2回	おたより作成演習											
	第3回	おたより作成演習											
	第4回	中間課題作成											
	第5回	中間課題作成											
	第6回	中間課題作成											
	第7回	おたより作成演習 図形操作中心の事例											
	第8回	おたより作成演習 表機能の活用											
	第9回	おたより作成演習 (または、最終成果物ガイダンス)											
	第10回	PowerPoint基本操作											
	第11回	PowerPoint基本操作											
	第12回	PowerPoint基本操作											
	第13回	PowerPoint基本操作											
	第14回	期末前演習											
	第15回	期末前演習											
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			総合評価 算出基準	<table border="1"> <tr> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
期末	中間	平常	出欠										
50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する													

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)									
科目名	情報処理Ⅲ	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	金子 憲史	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	テクノスクールでのパソコン技術指導													
授業のねらい (到達目標)	デジタル絵本の作成													
授業概要	画像・図形の作成・編集、アニメーションの設定、音楽の挿入など、デジタル絵本作成に役立つ機能を演習を通じて扱う 10コマ目にデジタル絵本の絵コンテを提出してもらう													
テキスト														
授業計画	第1回	ペイントを用いた描画演習												
	第2回	ミュージックビデオの作成												
	第3回	写真入りの年賀状作成												
	第4回	メッセージカードの作成、最終成果物ガイダンス												
	第5回	メッセージカードの作成、最終成果物ガイダンス												
	第6回	アニメーションの総合演習、最終成果物ガイダンス												
	第7回	アニメーションの総合演習、最終成果物ガイダンス												
	第8回	中間試験前演習												
	第9回	後期中間試験												
	第10回	デジタル絵本の作成												
	第11回	デジタル絵本の作成												
	第12回	デジタル絵本の作成												
	第13回	デジタル絵本の作成												
	第14回	デジタル絵本の作成												
	第15回	デジタル絵本の作成												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠										
	50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する														

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)			
科目名	卒業研究	授業形態	講義	単位数	2単位			
担当教員	江口 茜	実務経験の有無	×					
実務経験教員の経歴								
授業のねらい (到達目標)	卒業研究執筆に向けた基礎的な知識を獲得し、論文主題(テーマ)、論文構成につなげるスキルを培う。							
授業概要	①卒業研究とは ②卒業研究の流れ ③卒業研究に必要な基礎的なスキル ④ブックレビュー執筆 ⑤テーマ設定 ⑥参考資料収集 ⑦論文構成立案							
テキスト								
授業計画	第1回	卒業研究とは……論文とは何か						
	第2回	図書館探索						
	第3回	論文のルール、種類						
	第4回	ブックレビュー執筆						
	第5回	ブックレビュー執筆						
	第6回	ブックレビュー執筆						
	第7回	ブックレビュー報告発表会						
	第8回	論文を書くための基礎能力						
	第9回	論文を書くための基礎能力						
	第10回	論文を書くための基礎能力						
	第11回	論文を書くための基礎能力						
	第12回	論文を書くための基礎能力						
	第13回	テーマ設定						
	第14回	テーマと理由(論文主題設定と理由)発表意見交流会						
	第15回	テーマと理由(論文主題設定と理由)発表意見交流会, 執筆						
単位認定 ・ 評価方法	授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・授業態度				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)			
科目名	卒業研究	授業形態	講義	単位数	2単位			
担当教員	江口 茜	実務経験の有無		×				
実務経験教員の経歴								
授業のねらい (到達目標)	卒業研究執筆に向けた基礎的な知識を獲得し、論文主題(テーマ)、論文構成につなげるスキルを培う。							
授業概要	①卒業研究とは ②卒業研究の流れ ③卒業研究に必要な基礎的なスキル ④ブックレビュー執筆 ⑤テーマ設定 ⑥参考資料収集 ⑦論文構成立案							
テキスト								
授業計画	第1回	卒業論文執筆						
	第2回	卒業論文執筆						
	第3回	卒業論文執筆						
	第4回	卒業論文執筆						
	第5回	卒業論文執筆						
	第6回	中間発表						
	第7回	卒業論文執筆						
	第8回	卒業論文執筆						
	第9回	卒業論文執筆						
	第10回	卒業論文執筆						
	第11回	卒業論文執筆						
	第12回	卒業論文執筆						
	第13回	卒業論文執筆						
	第14回	卒業論文発表						
	第15回	振返り						
単位認定 ・ 評価方法	授業時数の2/3以上の出席			総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠
	平常評価: 課題提出物の状況・授業態度				50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する								

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)	
科目名	リミック応用	授業形態	演習	単位数	2単位	
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○			
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リミック指導16年					
授業のねらい (到達目標)	年齢別のリミック指導法をティーチングを通して理解する。 簡単なリミック遊びを身に付け実習や就職してからできるよう実践力をつける。					
授業概要	保育園において、指導者が園児に指導している様子を1歳児～5歳児まで見学し、年齢別指導法を学習する。 いろいろなリミックの手法を実際に動きながら、ねらいも含めて学習し、就職してから実践できるようにリミックの楽しさを体験する。					
テキスト	リズム&ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリミック・ゲーム67選 子どものためのリミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業					
授業計画	第1回	新潟えきなか保育園リミック指導見学				
	第2回	新潟えきなか保育園リミック指導見学				
	第3回	からだのなかの音楽				
	第4回	ビートにのる①				
	第5回	ビートにのる②				
	第6回	拍子を感じる①				
	第7回	拍子を感じる②				
	第8回	フレーズ・呼吸・空間①				
	第9回	フレーズ・呼吸・空間②				
	第10回	ロープdeゲーム～イメージあそび～				
	第11回	対話を楽しもう～即興演奏～				
	第12回	歌&楽器deゲーム①				
	第13回	歌&楽器deゲーム②				
	第14回	音楽と動き				
	第15回	自然な動きを用いた音楽ゲーム				
単位認定 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席			総合評価算出基準		
	平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			期末	中間	平常
			50%	25%	10%	15%
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する						

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)									
科目名	リトミック応用	授業形態	演習	単位数	2単位									
担当教員	小見 英晴	実務経験の有無	○											
実務経験教員の経歴	幼稚園教諭7年 リトミック指導16年													
授業のねらい (到達目標)	年齢別のリトミック指導法をティーチングを通して理解する。 簡単なリトミック遊びを身に付け実習や就職してからできるよう実践力をつける。													
授業概要	保育園において1歳児～5歳児まで実際に学生が指導計画を立て指導する。 いろいろなリトミックの手法を実際に動きながらねらいも含めて学習し、就職してから応用できるように楽しい体験をする。													
テキスト	リズム&ゲームにどっぷり/世界の歌を遊ぶリトミック・ゲーム67選 子どものためのリトミックde発表会/アクション&ビートでつくる音楽鑑賞の授業													
授業計画	第1回	新潟えきなか保育園リトミック指導												
	第2回	新潟えきなか保育園リトミック指導												
	第3回	音楽の「かたち」を体験①												
	第4回	音楽の「かたち」を体験②												
	第5回	音楽の「つながり」を体験①												
	第6回	音楽の「つながり」を体験②												
	第7回	ボディー・パーカッション												
	第8回	旋律や動きの体験												
	第9回	いろいろなリズム・ゲーム												
	第10回	リズムの変化を楽しむ												
	第11回	旋律・フレーズ・形式・和音の変化を味わう												
	第12回	創造的な動きを楽しむ												
	第13回	リトミックと発表会												
	第14回	幼児のリトミック発表会												
	第15回	さまざまなリトミック発表会												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠										
	50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する														

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	後期										
科目名	卒業制作	授業形態	演習	単位数	1単位										
担当教員	江口 茜	実務経験の有無	×												
実務経験教員の経歴															
授業のねらい (到達目標)	当校での学習の集大成として、卒業制作をおこなう。														
授業概要	当校での学習の集大成として、卒業制作をおこなう。														
テキスト															
授業計画	第1回	テーマ決め													
	第2回	テーマ決め													
	第3回	テーマ決め													
	第4回	卒業制作													
	第5回	卒業制作													
	第6回	卒業制作													
	第7回	卒業制作													
	第8回	卒業制作													
	第9回	卒業制作													
	第10回	卒業制作													
	第11回	卒業制作													
	第12回	卒業制作													
	第13回	卒業制作													
	第14回	卒業制作													
	第15回	卒業発表													
単位認定 ・ 評価方法	授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・授業態度			<table border="1"> <tr> <td>総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td></td> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠		50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠											
	50%	25%	10%	15%											
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する															

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(前期)									
科目名	一般教養	授業形態	講義	単位数	2単位									
担当教員	長島 弘一	実務経験の有無		○										
実務経験教員の経歴	公立小学校での36年の勤務経験を生かし、現場で求められる保育者の資質について実践的な指導を行う。													
授業のねらい (到達目標)	・社会人として求められる知識、教養を授業から学び、確実に習得することを目指す。													
授業概要	・下記テキスト等から、問題を取捨選択し、短期間に効率よく筆記試験対策を行う。 ・可能な限り、解説を行い、一人一人に適切な指導・助言が行えるように努める。													
テキスト	「一般常識チェック&マスター」等の問題を使用													
授業計画	第1回	・国語①問題1～2、数学①問題1～2を行う。												
	第2回	・国語②問題2～3、数学②問題2～3を行う。												
	第3回	・国語③問題3～4、数学③問題3～4を行う。												
	第4回	・国語④問題4～5、数学④問題4～5を行う。												
	第5回	・国語⑤問題5～6、数学⑤問題5～6を行う。												
	第6回	・国語⑥問題6～7、英語①問題1～2を行う。												
	第7回	・国語⑦問題7～8、英語②問題2、5を行う。												
	第8回	・国語⑧問題8～9、英語③問題5、社会①問題1を行う。												
	第9回	・国語⑨問題27～30、社会②問題2を行う。												
	第10回	・社会③問題3を行う。												
	第11回	・社会④問題4を行う。												
	第12回	・社会⑤問題5を行う。												
	第13回	・社会⑥問題6を行う。												
	第14回	・社会⑦問題7を行う。												
	第15回	・社会⑧問題8を行う。												
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度			<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>		総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠										
	50%	25%	10%	15%										
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する														

授業概要(シラバス)

新潟こども医療専門学校

対象学科	こども発達学科	実施学年	3学年	開講期	通年(後期)										
科目名	一般教養	授業形態	講義	単位数	2単位										
担当教員	長島 弘一	実務経験の有無		○											
実務経験教員の経歴	公立小学校での36年の勤務経験生かし、現場で求められる保育者の資質について実践的な指導を行う。														
授業のねらい (到達目標)	・社会人として求められる知識、教養を授業から学び、確実に習得することを目指す。														
授業概要	・下記テキスト等から、問題を取捨選択し、短期間に効率よく筆記試験対策を行う。 ・可能な限り、解説を行い、一人一人に適切な指導・助言が行えるように努める。														
テキスト	「一般常識チェック&マスター」等の問題を使用														
授業計画	第1回	・国語①問題10、社会①問題3、要点P14、15を行う。													
	第2回	・国語②問題11、社会②問題20、要点P16、17を行う。													
	第3回	・国語③問題12、社会③問題21、要点P18、19を行う。													
	第4回	・国語④問題13、要点P24～27を行う。													
	第5回	・国語⑤問題14、要点P20～23を行う。													
	第6回	・国語⑥問題15、要点P10、11を行う。													
	第7回	・国語⑦問題16、要点P28、29を行う。													
	第8回	・国語⑧問題17、要点P30、31を行う。													
	第9回	・国語⑨問題18を行う。													
	第10回	・国語⑩問題19を行う。													
	第11回	・数学①問題8を行う。													
	第12回	・数学②問題10、要点P220、221、224、225を行う。													
	第13回	・数学③問題12を行う。													
	第14回	・理科①問題1、2、要点P232、233、240、241を行う。													
	第15回	・理科②問題3、4を行う。													
単位認定 ・ 評価方法	期末試験の実施 授業時数の2/3以上の出席 平常評価:課題提出物の状況・確認テスト・授業態度		<table border="1"> <tr> <td rowspan="2">総合評価 算出基準</td> <td>期末</td> <td>中間</td> <td>平常</td> <td>出欠</td> </tr> <tr> <td>50%</td> <td>25%</td> <td>10%</td> <td>15%</td> </tr> </table>				総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠	50%	25%	10%	15%
総合評価 算出基準	期末	中間	平常	出欠											
	50%	25%	10%	15%											
上記の評価の結果、総合評価算出基準によりC認定以上の者を単位認定する															